

# 石狩地区 新規就農者紹介



## 【仲間たちの誕生】

2024年春に出産ラッシュを迎え、3月～4月にかけて7頭の子牛が生まれました。SNSを通じて、子牛の元気な様子等を発信しています。また、主役は牛であることを意識して、牛を「生産者」として紹介し、自然体でありのままの姿を発信しています。

## 【夏と冬の飼育状況の違い】

夏は放牧により自由に牧草を食べられる環境にしています。昨年冬は、購入した牧草を与えましたが、今年は4ha分の採草地を作り、冬に備え牧草ロールを作っています。搾乳については、夏のみ行い、出産時期を調整し冬は搾乳しないようにしています。

ジャージーの箱庭(当別町) 2024年9月取材

藤田 龍太さん 藤田 里世さん

就農年:2023年4月

飼育牛:ジャージー種(9頭)

「ジャージーの箱庭」Instagramはこちら→

HPはこちら→ <https://jerseynohakoniwa.com>



@JERSEY.NO.HAKONIWA

## 【牛乳の販売について】

当別町や札幌市への直接配達のほか、配送便による販売を行っており、遠くは兵庫県まで配送しています。

口コミや紹介により販路を獲得していますが、当牧場のグラスフェッドミルクが原材料のスイーツを食べたことがきっかけで購入を希望する人もいます。

## 【牧場風景】



【牛舎】



【暑さ対策に換気扇を増設】



【牧場を一望できるテラス】



【ストレスを感じない環境】



【自由に牧草を食べる牛】



【8haの広大な牧場】

# 石狩地区 新規就農者紹介



**ジャージーの箱庭(当別町)** 2024年2月取材  
藤田 龍太さん 藤田 里世さん  
就農年:2023年4月  
飼育牛:ジャージー種(9頭)  
「ジャージーの箱庭」Instagramはこちら→  
  
@JERSEY.NO.HAKONIWA

**【今後の展望】**  
人間と牛の共存を目指して  
少数の牛を飼育し、牛に優しい環境をつくる  
牛にストレスのかからない環境づくりを目指し、放牧で少数の牛を飼育して一頭一頭を大切に育てつつ、搾乳した生乳を自分で殺菌処理し、安心安全な牛乳を各家庭まで配達し直接届けたい。

**【就農のきっかけ】**  
前職は外国人の民泊対応や北海道内で酪農に従事していました。もともと動物が好きで牧場経営に興味を持ち、千歳や十勝方面の牧場で働きました。  
自然な環境で育てることに適しているジャージー種の放牧酪農経営で、2023年に夫婦で新規就農しました。

**【頑張っていること】**  
本格的に牛乳の販売を開始するのは2024年の春からで、現在は試飲会を行うなどの営業に励み、販売先の確保に向けて取り組んでいます。飼育形態は少数の牛を完全放牧し自給牧草を与えるグラスフェッドにより管理しており、今後は牧草、牛乳及び加工食品の有機JAS認証取得に向けて精力的に取り組む予定です。

**【牧場風景】**



(牧場内の様子) (ジャージー種) (生乳の殺菌処理)

**【活用した事業】**

- ・青年等就農資金、経営発展支援事業、次世代人材投資事業
- ・小規模事業者持続化補助金（経済産業省）